

あそら

TAKUSUI
No. 631

5

May. 2009

発行 財兵庫県水産振興基金

兵庫の漁業人のための情報誌



食育活動の講義 (大輪田塾)

NEWS

ともに手を携え地域漁業の発展をめざす

JF別府町・JF尾上 合併仮契約調印式

「瀬戸内海関係漁連連絡会議」開催

Report

兵庫県漁協女性部連合会 創立50周年記念座談会

平成20年度 のり共販終了

ともに手を携え地域漁業の発展をめざす JF別府町・JF尾上 合併仮契約調印式

去る平成21年5月11日（月）、加古川市内のホテルでJF別府町とJF尾上の合併仮契約調印式が行われました。今後、両組合は6月中に開催予定の合併総会での承認など手続きを経て、本年8月1日に新生「東播磨漁業協同組合」の誕生を目指すこととなりました。

調印式では、JF別府町の川崎十九男組合長およびJF尾上の岩城和夫組合長のほか、両組合の役職員、行政、系統団体からの来賓など34名が出席し、加古川市の樽本庄一市長ならびにJF兵庫漁連の小松 司会長（代理：山口徹夫専務）の立会のもと、合併仮契約書への署名が行われました。

開会にあたり、両漁協を代表してJF尾上の岩城組合長が「漁業を取り巻く厳しい環境の中、両組合がともに手を携えることが地域漁業の発展に大きく貢献するものと確信し、組合員一同新たな決意を持って努力していく」と挨拶され、調印後、加古川市長・JF兵庫漁連会長から、それぞれ新組合への期待を込めた祝辞が述べられ、調印式は滞りなく終了しました。なお、水協法が施行された昭和24年当時は、県下に98漁協がありましたが、制度的な再編整備などあり、このたびの新組合誕生で49組合となります。



握手される川崎組合長と岩城組合長

「瀬戸内海再生法（仮称）」制定に向けて結束確認 瀬戸内海関係漁連連絡会議開催

平成21年4月16日（木）に神戸市において「瀬戸内海関係漁連連絡会議」が開催されました。

会議は幹事県であるJF兵庫漁連の山口専務理事の進行で進められました。

冒頭に関係漁連の認識を一つにするために、事務局から前回の連絡会議の確認事項が報告され、続いて、メインテーマである「瀬戸内海を水産資源等の豊かな海として再生するための法整備に係る取組み」について、経過報告と今後の予定を中心に瀬戸内海環境保全知事・市長会議事務局＝兵庫県森川水質課長より説明があり、今は国会情勢が落ち着くのを待っているとの現況報告があり

ました。

引き続き、全漁連漁政部待場次長から「漁業用水」について話題提供があり、特に、近年、栄養塩のバランスが崩れ、漁場の生産力が著しく低下している状況について、ダムの放水や下水の処理方法等による季節的な栄養塩管理について情報交換がされました。また、「里海」と「漁業権」の関係についても協議されました。

最後に、今後も「瀬戸内海再生法」（仮称）の制定に向けて共に協力し合い、取り組んでいくことが確認され閉会となりました。

兵庫県漁協女性部連合会 創立50周年記念座談会



座談会の様子

昭和29年(1954年)、東須磨、浜坂、三尾の3漁協に婦人部が設立され、「1日10円貯金運動」が始まりました。この運動は、その後各地で設立された漁協婦人部に波及して昭和33年(1958年)まで続き、この年には県下婦人部数42人、部員数5,882人を数えるまでになりました。

当時の日常生活を明るく文化的に暮らしていくための問題は、単協婦人部のみでは難しく、県全体で改善していかなければならないとの認識のもと、昭和34年(1959年)8月、兵庫県漁協婦人部連合会が創立されました。

その後、貯蓄推進、漁業者年金加入促進、魚食普及、環境保全、ひょうご海の子作文の開催など様々な活動を実施し、平成16年(2004年)、若い女性が参加しやすくすることを目的に「兵庫県漁協女性部連合会(JFひょうご女性連)」と名称変更し、今日に至りました。

この兵庫県漁協女性部連合会が、今年(2009年)創立50周年を迎えることとなり、これを記念して4月14日(火)兵庫県立水産会館にて創立50周年記念座談会が開催されました。

参集者はJFひょうご女性連合会長 森 武美氏、副会長 井上二三枝氏、同 本多春代氏、同 久瀬よし子氏、来賓としてJF兵庫漁連会長 小松 司氏、兵庫県水産課長 山村雅雄氏で、創立当初の協同購入活動から税務申告に至るまで豊富な話題で盛り上がりました。

中でも注目すべき話題は、「昭和47年から

50年ころにかけての赤潮、PCB、オイルショック、水島精油所流出油などの問題で漁家の経営が苦しく、子供に後継を薦めなかったため、前世代から受け継ぐべき伝統が途切れてしまっている」点、魚食普及については「若い世代は共働きも多く、小売店で捌いてもらっても良いので魚を食べ、魚食の重要性を認識し、子供にも魚食の習慣付けが大切である」といった発言で、「阪神間にクギ煮の料理法が普及した経緯を参考にすること、7月から新水産会館で活動を開始する県漁連の魚食普及対策室の活動などでこれらを受け継ぐ工夫が必要である」との将来への展望も示されました。

尚、この座談会の模様は今年発刊予定の創立50周年記念誌に掲載されることとなっています。



挨拶される森 武美会長

平成20年度 のり共販終了

JF兵庫漁連のり海藻事業本部

平成20年度の全国のり共販は5月2日の本県で終了し、今漁期の水揚げは以下のとおりとなりました。

本年度、漁期当初は、漁場環境も例年並みに推移し、1月一杯は例年以上の生産状況を維持したものの、2月以降は各地で栄養塩が低下し、色落ち被害が見られ始めました。2月後半より、度重なる降雨（過去10年間で最大値）

や、漁業者の漁場再生を目指した努力（海底耕耘、施肥、ため池放水）、また行政の支援協力（ダム放水、下水有効利用）により生産が持ち直し、2月までの生産を維持しました。3月以降には下物が高いという追い風もあり、最終的には過去の歴史において、個人あたりの生産枚数が最も多い値（145万枚/人）が達成されました。

平成21年5月2日現在

	共販年度	共販枚数	共販金額	平均単価
全 国	平成20年	90億8,947万枚	800億2,919万円	8円80銭
	平成19年	86億2,830万枚	768億1,411万円	8円90銭
	平成18年	95億5,802万枚	827億7,965万円	8円67銭
本 県	平成20年	15億0,981万枚	121億2,525万円	8円02銭
	平成19年	7億4,927万枚	59億5,823万円	7円94銭
	平成18年	16億1,469万枚	124億6,881万円	7円71銭

ひょうご県民交流の船

～兵庫県が実施する豪華客船を使った海外クルーズ～

海のプリンセス「ふじ丸」で行く感動の船旅！新しい出会いと発見があります。

神戸港を出港し中国・上海に到着後、6コースにわかれ中国の世界遺産やモンゴルの自然と文化を堪能します。また、船内では、講演会やクラブ活動など多彩なイベントをお楽しみください。

一般の旅ではなかなか体験できない出会いや感動が必ず見つけられる「交流の船旅」です。

是非、この機会にご参加ください。

参加者
募集



期 間:2009年 **9月15日(火)～23日(水)** の9日間

訪問先:中国、モンゴル

募集締切:平成21年8月14日(金)迄 ※但し、定員になり次第締め切ります

旅行企画・実施:トップツアー株式会社 神戸支店

使用船:ふじ丸(23,235トン)

A 北京・西安コース
(上海・北京・西安・大連)
229,000円～ 定員:60名

B 黄龍・九寨溝コース
(上海・黄龍・九寨溝・成都・大連)
249,000円～ 定員:65名

C 桂林コース
(上海・桂林・大連)
217,000円～ 定員:70名

D 無錫・三峡下りコース
(上海・三峡下り・無錫・大連)
239,000円～ 定員:65名

E モンゴルコース
(上海・テレルジ・ウランバートル・大連)
259,000円～ 定員:60名

F 船旅コース
(上海・クルージング・大連)
169,000円～ 定員:50名



「ひょうご県民交流の船」
告知ポスター

企 画:ひょうご県民交流の船実行委員会

構成団体:兵庫県/財団法人兵庫県生きがい創造協会/公益財団法人兵庫県青少年本部/財団法人兵庫県国際交流協会

お問い合わせ・申し込み先

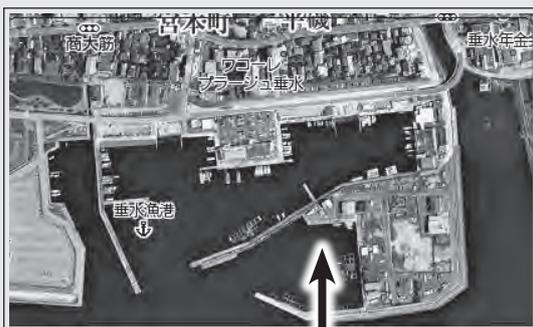
トップツアー(株) 神戸支店

☎ 0120-95-8019



この漁船の買い手を探しています!

登録番号	HG3-26514
船名	海斗丸
主根拠地	神戸市
進水	H6.10.25
船質	FRP
トン数	3.7トン
推進機関	ディーゼル 330kw 三菱 S6M3J-MTK、Max495PS (H19年1月に換装)
造船所	ヤマハ志度製造
漁業種類	刺し網・雑漁業



繫留場所

物件は神戸市垂水区の垂水漁港内に
繫留されています

お問い合わせはこちらまで

兵庫県漁業信用基金協会
TEL:078-681-5643

大輪田塾だより

「操業安全」と「兵庫の食育活動」

4月28日(火)、兵庫県立水産会館で大輪田塾が開催され、兵庫県水産振興基金の戸田氏懿専務が「海難事故等発生の事例と事故発生時の初動対応」と題し、また兵庫県健康増進課の寺岡典子主査が「ひょうごの食育～食で育む元気なひょうご～」と題して講義が行われました。

戸田専務の講義では、漁業関係の事故事例を参考に、事故発生時の初動対応と発生防止の留意点に重点が置かれ、また、寺岡主査は、食育基本法や食育活動の内容、兵庫の食育推進計画の取り組みの5つの柱を中心に、保育園での料理教室の様子を交えて、今後の食育システムの構築への課題について講義されました。塾生は、事故時の記録の重要性や事故後の鑑定内容について、また、子供の「食」への教育の大切さなどについて、質疑を繰り返していました。



兵庫県水産振興基金 戸田専務の講義



兵庫県健康増進課 寺岡主査の講義

お魚調理 ワンポイントアドバイス

刺身

皮と骨のないまぐ鰯までさばき進めば、後は刺身に切るだけです。刺身の切り方の基本として、身の厚い方を向こう側、薄い方を手前側に置き、刺身の代表的な切り方2つを紹介します。

【平造り】

皮のあった側を上にして、横方向に置いた柵の右側から切っていきます。

包丁の刃渡り全体を使って、刃元より切り始め、刃先へ向かって流れる様に、力を入れずに切ります。

1回の動きで切れない場合は、再び刃元から切り足しますが、この動作を不要とするために、刺身包丁の刃渡りは長いほうが良いのです。

切り面に平行であり、同じ幅を心がけ切り進めます。魚に脂があるほど、包丁の動きが抑制されますので、切り進めるごとに、フキンで包丁の脂をぬぐい落します。平造りは右から切り進めますので、切った刺身は包丁の右にあるので、包丁を右に傾け、刺身を包丁から外します。



【そぎ造り】

皮のあった側を下にして横方向に置いた柵の左側から切っていきます。

身をそぎように、包丁を右から左へ滑らせ、切ります。

切った刺身は右から左へ重ねる様に並べると、綺麗に見えます。そぎ造りは出来るだけ薄く削ぐほどよいのですが、皮のあった側が下になりますので、等間隔で切ることを心がけてください。

刺身の盛り付けはセンスです。綺麗に並べることが味に影響する最大の課題なのです。

兵庫県選出国會議員に要請 兵庫県農政推進協議会

兵庫県農政推進協議会は4月13日、「平成21年度国・県主要施策説明会」を県農業会館で開き、JA側から、各JA組合長など27名が出席しました。午前中は、本県選出国會議員6人と山田俊男議員が出席。はじめに、石田正県農政推進協議会会長が、「県内農家が希望を持って農業を続けられる施策を政治主導で進めてほしい」と挨拶し、次に、山田議員からは、今年度の国の水田農業対策、農地制度改革などの主要施策について説明がありました。

農政推進協議会からは、「中山間地が多く中小規模の副業的農家が地域農業や農村社会を支えている本県の実態を十分踏まえ、全国一律ではなく地域性を配慮した新たな直接補償制度など、農家支援の仕組みづくりを創設してほしい」と出席議員に要請し、さらに、参加した組合長からは、米飯学校給食の回数増加のための予算措置や、地域実態を反映した担い手対策などの要望が上がりました。

国會議員からも、「国の農業施策は、兵庫県の実態に合っていない面が多く、地域性が反映できる柔軟な施策体系に向け努力したい。JAから一層の情報提供をお願いしたい」などの意見が出ました。

午後は、伍々博一農政環境部長をはじめ県幹部が出席し、来年度県の主要農業施策について県より説明があり、活発な意見交換が行われました。



出席した国會議員に要請する石田会長

3月から「無料・低額診療事業」 を開始しました 尼崎医療生活協同組合

尼崎医療生協では、社会福祉法にもとづいて、生活に困り、医療費の支払いが困難な方に対し、医療費の減額または免除を行う制度を、2009年3月1日にスタートさせました。金融危機を発端に市民の暮らしは、昨年の秋以降いっそう深刻になってきています。

尼崎市民の暮らしは、それ以前から、世帯全員が非課税の割合が高く、国民健康保険の滞納世帯も40%を超え、生活保護率が高いのが実態です。

「いのちの平等」を掲げてきた尼崎医療生協は、これまでも個室であっても「差額ベット料」を徴収せずに運営してきました。これに加えて、「無料・低額診療事業」を行うもので、阪神間では、初めての取り組みとなります。この取り組みは、生活困難な方が経済的な理由によって必要な医療を受ける機会を制限されることのないよう、無料または低額な料金で医療を利用していただく、社会福祉法に位置づけられている事業です。尼崎医療生協病院、あおぞら生協クリニック、戸ノ内診療所、潮江診療所、東尼崎診療所、長洲診療所、ナニワ診療所、本田診療所、萌クリニック、生協歯科、戸ノ内歯科診療所にて実施します。

『安心と助け合いのまちづくり』は尼崎医療生協だけでできるものではなく、多くの関係団体との協力の力で、はじめて成り立つもの」として、関係団体との協議や事業所内での意志一致をはかるための取り組みも重ね、その結果の実現となりました。



関係団体との協同で「いのちの平等」をさらにすすめるための「無料・低額診療事業」開始で懇談



旬に想う

写真と文
遊方子

帰化した植物たち

◆帰化植物とは、外国から来て日本に定着した植物のこと。偶然に持ち込まれる場合と、園芸目的で移入した植物が逸出する場合があります。日本で爆発的に増えた草にセイヨウタンポポ・クローバー・ハルジオンがある。昭和天皇は生物研究者としても知られたが、著書『伊豆須崎の植物』で約50種の帰化植物を記録されている。須崎御用邸内に生育する様子を詳細に観察され、その序文では環境保全にも注目して居られる。今の邸内には当時の3倍の帰化植物が確認出来るという。在来種が脅かされ、環境が悪化したと言わねばならない。

◆夏の夕刻、明石の藤江浜ではオオマツヨイグサが咲き揃う。四弁の黄色い大型の花は、夜目にも鮮やかで良く判る。明治の初め、アメリカから渡米して全国に広まった帰化植物だ。太宰治の短編『富岳百景』には、富士山麓を走るバスの窓から、老婆が月見草を見つけた場面が書かれている。執筆された当時の富士山麓では、オオマツヨイグサが多くて「富士には月見草がよく似合う」という風景が見られたそうで、この月見草はオオマツヨイグサと思われる。今、この山麓は一回り花の小さなアレチマツヨイグサに占められているという。時世と共に移り変わるのが、帰化植物の特徴でもあるようだ。

◆花粉症の元凶スギと共に、ブタクサも目の仇とされる。北アメリカの原産で80年代に関東で確認され、昭和期に全国に分布を広げた帰化植物である。わが菜園近くにも繁茂しており、2メートル

近くになり長い花穂から花粉を飛ばす。風媒花だ。タネの生存期間が長く駆除の難しい草である。映画鑑賞も背景に出る植物に主眼をおくと別の楽しみになる。『七人の侍』で主役\勘兵衛が待探しする前半、茶店の裏で薪割りする平八の場面。背景に大きく伸びた雑草が写り、荒れた感じが良く出ている。それがブタクサだと判る。完璧主義の黒澤監督もオープンセットに生えた雑草にまで注意が回らなかったようである。

◆ミズヒマワリはキク科の草だが、古い植物図鑑には掲載がない。熱帯魚の水槽に植える水草でペットショップで売られている。それが水槽から逸脱し急速に増える傾向でという。豊橋や高槻の河川で確認され、福岡の農業用水路や利根川下流でも見つかっている。平成17年施行「特定外来生物による生態系などに係る被害の防止に関する法律」に、ミズヒマワリも規制対象に指定されており、繁殖地での駆除には許可が必要である。帰化植物の増えるのは、日本本来の生態系に好ましくない。外来の生物には厳しい目を向けたいものだ。



「山桜」(千草高原にて)

兵庫県知事選挙

投票日 **7月5日(日)**

投票時間 **午前7時～午後8時** ※一部の地域を除く

投票日当日、仕事、買い物、レジャーなどの予定がある方は、**期日前投票**をすることができます。

期日前投票のできる期間

6月19日(金)～7月4日(土)

詳しくは、住所地等の市区町選挙管理委員会へお問い合わせ下さい。

みなさんそろって投票しましょう!!

表紙の言葉



「食育活動」

4月の大輪田塾のテーマの1つは「食育活動」でした。食の安全安心、魚食普及に感心が高まる中、兵庫の食育推進計画やそのシステム構築について講義が行われました。